

住まい手が綴った

うれしい、わが家。

26軒のシンケンスタッフの家



2017年秋、シンケン は 創立から 40 年を迎えます。

創立以来、お手伝いさせて頂いた住まいも

1,700 棟を数えるまでになりました。

“家族が和やかで 自然の心地よさ”を感じられる

住まいづくりに取り組むなかで、

住まい手様の暮らしに学び、共鳴したスタッフが

シンケンの家を建てるのが、年々 増えてきました。

家づくりの現場も、づくり手も、

多くの皆様との良き出会いに恵まれ、支えられています。

現在、設計プランナー・大工職人・メンテナンス専門の

技術者など、様々な職種の 26 名のスタッフが

シンケンの家に暮らしています。

『スタッフの家と暮らし』をお披露目させていただきたく、

住まい手が自らペンをとり、写真を撮って、一冊にまとめました。

友人の家を訪ねるような気持ちで、ご覧いただければ幸いです。

株式会社 シンケン



緑と好きなモノに
囲まれて暮らす



手を伸ばせば届く位置に、板を渡して収納をつくりました。使いやすいね、と妻から太鼓判！

上 / 大雪の日も、シャツ一枚で過ごしました。
(もちろん、薪ストーブを点けてです)
下 / 新築当初のようす。モノを購入するときは、
夫婦で話し合い、長く使えるものを選んでいきます。



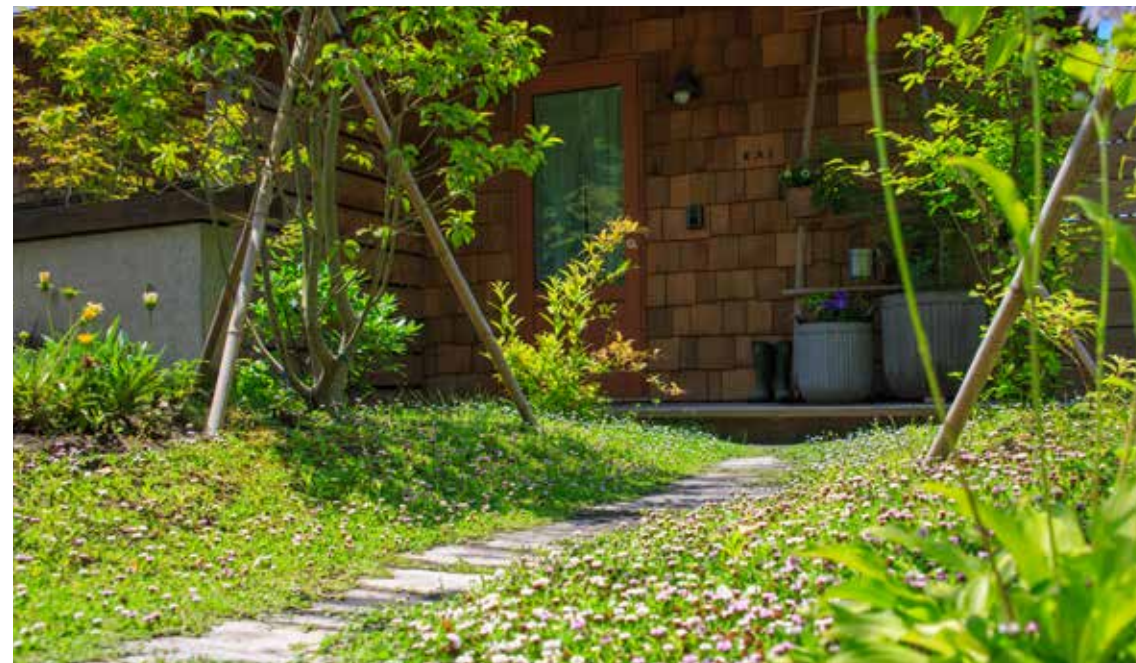
▲ KAI's home 01

ビーグルコテージ

挿し木で年々増やしてきたローズマリーが
やっと様になってきました。柵は自作しました。



一年を通して、家全体が快適温度で、観葉植物もすくすく育ちます。



わが家が一番、満喫！

自然の中で
豊かな暮らしがしたい、
夫婦の夢の器ができて4年。
新築時に植えた木々も
大きくなり、季節ごとに咲く
花も目を楽ませてくれる。
家の中は、一年中安定した
室温。
夏は涼しく冬は暖かく
新しく増えた家族(愛犬)も
のびのび過ごしている。
これから10年、20年…、50年。
自然豊かな土地で
ワクワクしながら、
自分たちの手で暮らしを
紡いでいきたい。

広報カメラマン
甲斐眞



妻が組み立ててペイントした自作の巣箱。
まだ来ぬ訪問者が、待ち遠しい日々です。

✧ 2人暮らし
🏠 2013年完成
📍 鹿児島市吉野町

敷地面積:268坪 延床面積:28坪



1. 庭のローズマリーに、山で拾った松ぼっくりや木の実を添えて、自作したクリスマスリースは毎年の定番です。
2. オレンジ色の灯りは、心まであたためてくれます。
3. 気候のいい時は庭で食事。ちょっとした特別な時間。
4. ターシャの庭に憧れて。春はジギタリス・コデマリ・ルドベキアなどの花々で賑わいました。

庭も、風景も、
わが家 ♻️



緑いっぱいの玄関までの小路。^{こみち}
四季折々の野の花が出迎えてくれます。

上 / 屋根のある濡縁[※]は、梅雨でもふだん
使いできる気持ちのいい場所です。
下 / 夏はプールを常設していつでも水遊び。
疲れたら風が通る室内でひと休み。
そしてまた、お外へ GO!!

※濡縁(ぬれえん) : 外にある縁側(えんがわ)

◀ KAGAE's home 08

ぐうたらお父さん を変えた家



わが家が建って程なく、お隣にもシンケンの家が建ちました。
長閑な自然に生まれ、子どもたちものびのびと成長しています。

元々クヌギ林だった土地に、ほどよく木を残して家を建てました。



山の緑と、青い空、
風にそよぐ庭の木々…
その小さな家には、豊かな
自然とともに健やかに生き
る日常があります。
春夏秋冬、めぐる季節を存
分に味わうために子どもた
ちの遊び場をつくったり、
気持ちのいいところを見つ
けてはいそいそと、家族が
集う居場所をしつらえたり。
家の手入れも、庭の手入れも、
心地よさに誘われて自然に
体が動く。
ぐうたらお父さんを変えた
のは、豊かな自然に囲まれた
小さな家でした。

広報

加賀江 広宣



夏は木陰のブランコが人気！キッチン窓から
子どもたちのようすが、よく見えます。



冬の楽しみ薪ストーブ



春をみつけた！



窓辺のカウンターも日曜大工



ご近所さんからいただく旬の野菜



冬は陽だまりがうれしい～



日よけをこしらえて心地いい居場所に

📷 kagae_hironobu

👤 5人暮らし

🏠 2013年完成

📍 鹿児島市油須木町

敷地面積：164坪 延床面積：29坪



「キャンプ場には、行ったことがありません。
キャンプも楽しめるこの家は、インドア派お父さんの味方です！」

創造の泉
ハナレ



3坪足らずのハナレ。バイク3台・キャンプ
道具の収納、時にはお酒を飲んだり、仕事場
としても活躍しています。使い方は無限大∞

上 / 壁に有孔ボードをつけて、
取り出しやすく収納しました。
下 / 出入り口扉の内側は、黒板にしました。
子どもたちが全身でお絵書きできます。



YAMAGUCHI's home 09
わたしの
wakuwaku 研究所

暮らしに合わせて、自由にアレンジできる家。玄関は板土間のフリースペースにしました。



妻の実家の土地に建てました。家々に囲まれた密集地ですが、自然の心地よさを感じながら、子どもたちののびのびと成長しています。

2階リビングの

わが家の日常は、朝起きて、私と子どもたちは制服に着替えてから階段をのぼり、朝陽を浴びるダイニングへ。休日は、ふだん着でのんびりと過ごす。コーヒーを淹れて庭の手入れや薪割り、たまにはバイクのエンジンに火を入れてひとっ走り。キャンプに行けなくてもキャンプ場でやることをわが家で楽しむ。

料理を楽しむ、家事を楽しむ、暮らしを楽しむ。

そんな日常がうれしいわが家。

プランナー
山口 敏弘



隣地の緑を借景にしたダイニング。仕事に、宿題にと、窓辺の机は大活躍です。



美味しいものとおしゃべりを楽しみに、キッチンには家族が集まります。



リビング横のデッキでランチ



薪ストーブで焼餅、実験中



子どもたちと、冬支度



楽しく、使いやすい



額縁に入った中庭の景色



お陽さまにあたって、美味しくなーれ

 toshihiro_yamaguchi

 4人暮らし  2015年完成  鹿児島市小野

敷地面積:60坪 延床面積:34坪+ハナレ



友人たちを招いて中庭で食事。わが家には気持ちのいい場所がたくさんあります。

20
回
目
の
春



上 / テーブルの上を彩るのは、庭の草花。
ドクダミは飲んでも、眺めても、うれしい。
下 / キッチンからデッキに出てハーブをチョキッ×
新鮮なままお料理に使えます。



光や風が渡るキッチン。
桜島を眺めながら、1日が始まりです。



◆ TAKESHITA's home 13

今日もていねいに。

実家の敷地に建てたわが家。緑や花々に囲まれて、
四季のある暮らしを楽しんでいます。



わが家は、子どもたちが1才、3才、5才の時に建てました。あれから20年、子どもたちはみんな社会人になりました。子どもたちがおもちゃを落としてできた床のキズ、柱に描かれた背比べの線。デッキに布団を持ち出して流星群を眺めたり、お弁当を広げて、街の花火を楽しんだり……。子どもたちの成長と共に育まれた、わが家の愛おしい歴史。これからまた10年・20年…と、日常の小さな感動を大切にしながら、日々を丁寧に重ねていきたいです。

総務
竹下 明美

外壁は、およそ5年おきに家族で塗装しています。デッキの塗装は、毎年G.W.の恒例行事です。みんなで汗を流して、キレイになったわが家を眺めると、うれしくなります。



室内の壁や床は年々色濃くなり、理想の鮭色に近づいています。昨年は念願の薪ストーブを増設して、冬の楽しみが増えました。



2.



1.



5.



4.



3.

👤 4人暮らし

🏠 1997年完成

📍 鹿児島市小野

敷地面積：126坪 延床面積：31坪

1. キッチンが明るいと、気持ちも明るくなります。
2. 小まめに手入れをする主人。植物たちも元気です。
3. スキップフロアのわが家。吹き抜けは子ども達が遊んだりおしゃべりしたりと活躍してきました。思い出がいっぱいです。
4. 今日の手作りおやつ。みんなの喜ぶ顔が見たくて。
5. 2階の子ども部屋はロフト付きです。3人の息子で自由に、仲良く使ってきました。



庭に来る鳥を子どもたちと一緒に
観察して、名前を調べたりしました。
息子がzoomレンズでパシャリ📷

ハナレ
離れ過ぎない



独身時代に集めたオーディオセットを設置したハナレは、シアタールーム仕様です。



右 / ダイニング脇の小物入れ。
みんなが取り出しやすい場所に
収納しています。
左 / 2階クローゼット。洋服の丈に
合わせたハンガーパイプ高と
平積み収納は大容量です。

SAKAMOTO's home 15 青空食堂と シアタールーム



「今日は、外でごはん食べる？」
と聞くと、子どもたちは大喜び。
休日の楽しみ“青空食堂”です。



映画やビデオを大音量で楽しめるハナレ。
最近子どもたちの方が活用しています。

🏠 5人暮らし
🏠 2014年完成
📍 鹿児島市吉野町

敷地面積：99坪
延床面積：35坪 + ハナレ

こだわりでハイカロリーコンロを設置しました。休日は、男飯を振る舞います！



妻の母と一緒に、5人で
ゆったりと暮らすわが家。

わが家のデッキは、キッチンとハナレに囲われていて、周囲を気にせず使えます。キッチンのすぐ隣にあるので、食事の準備や片付けが楽チン。天気がいい日は、思わず外に出たくなります。家族みんなをそんな気持ちにさせてくれるわが家のデッキは、第2のダイニングとして大活躍です。

現場管理
坂元真樹

メンテナンス！
自作・改造・分解



右 / 子ども部屋につながる階段。娘たちが自由にディスプレイしています。
左 / 広くない敷地ですが、小さな庭のおかげで四季を感じられます。



太陽熱の床暖房システムと
自作の換気システムがある屋根裏。
メンテナンスのことまで考えて作りました。

家全体の換気システムを自作
しました。写真は2階のリ
ビングにある制御装置。
ロフトの温度センサーと連動
して1階の電動シャッターが
開き、屋根裏から排気します。



ODA's home 16

エンジニア's LIFE

玄関ホール。眺めてうれしい場所をつくりました。



寝室にある作業スペース。好きなことに没頭できる場所です。

2階リビングの大きな窓の向こうには公園が広がります。公園の桜が窓いっぱいに広がる春の景色は、家族みんなの楽しみです。

仲良しの娘2人は、ロフトを子ども部屋にして、好きなようにアレンジしています。1階の夫婦の寝室の一角には、メカとトコトン向き合えるスペースを確保。玄関ホールはディスプレイスペースです。40坪足らずの敷地に建つ木の家には、楽しみがたくさん詰まっています。

ユーザーズサポート
小田 三紫

- ✦ 4人暮らし
- 🏠 2003年完成
- 📍 鹿児島市吉野町

敷地面積：39坪 延床面積：27坪



お向かいの公園から、春の一枚。



母屋は親子4人、ハナレには両親。2棟を行き来しながら暮らしています。

21 2棟でひとつ



悩んだ末にたどり着いたのは実家の建て替えでした。

渡り廊下で繋がる母屋とハナレ。そのもとには前の家から引き継いだ大きな紅葉があり、四季折々豊かな表情で楽しませてくれます。隣の畑で父が作った新鮮な野菜を妻が調理して食卓へ。3世代6人で丸いテーブルを囲んで、その日あった出来事を話しながら食事が進みます。

おはよう、おやすみ、うれしいことや思いやりが、2棟の間を行き来する暮らしです。

現場管理
東 正博

母屋にキッチン ハナレにお風呂



上 / 食事は、みんなで母屋のテーブルを囲みます。
子どもたちと両親の自然なふれあいがうれしいです。
下 / みんなが使うハナレの木風呂。壁は、元の家の一部を再利用して、思い出も受け継ぎました。



母屋のリビング。大きな吹き抜けでつながる2階は、寝室と子ども部屋です。

✧ 6人暮らし

🏠 2014年完成

📍 鹿児島県日置市伊集院町

敷地面積：238坪

延床面積：33坪 + ハナレ9坪



渡り廊下でつながる2棟。
両親の手入れが行き届いた庭は、
訪れる人を心地よく迎えてくれます。

